

保有機械一覧

①【排水ポンプ車】



②【対策本部車】



③【待機支援車】



④【照明車】



⑤【衛星小型画像伝送装置】



⑥【無人化施工バックホウ】



⑦【応急組立橋】



⑧【投下型水位計】



①【排水ポンプ車】

台風や豪雨などによる浸水被害を最小限に防ぐため排水作業を行う車両です。排水作業に必要な水中ポンプ・ホース・発電機を備えています。

②【対策本部車】

災害現場の最前線において、情報収集や応急対策の検討、現場指揮を行う現地対策本部となる車両です。拡幅すると約13畳の広さになります。

③【待機支援車】

災害現場で活動する作業員の休憩場所として使用する車両です。仮眠用のベッドを4人分備えています。

④【照明車】

夜間や悪天候時に安全に作業できるよう現場を明るく照らすことができる車両です。照明灯にはLEDが採用されています。

⑤【衛星小型画像伝送装置】

日本国内ならどこからでも衛星を通じて画像や音声を送送することができます。災害現場の情報をリアルタイムに把握することに活用されています。

⑥【無人化施工バックホウ】

大雨や地震による土砂災害現場で、遠隔操作により復旧作業を行うことができます。また、13分割して空輸することもできます。

⑦【応急組立橋】

被災した橋に代わって短期間で緊急的に架設できる組立式の橋です。20トンまでの荷重に耐え、支間長16～40mまで2mピッチで任意の長さで架設できます。

⑧【投下型水位計】

崩落した土砂で河川が堰き止められた場合などに水位を観測するための機械です。ヘリコプターから投下することができ、衛星通信により位置と水位を監視します。

主な災害対策支援実績

平成28年熊本地震

熊本県阿蘇郡南阿蘇村へ無人化施工バックホウを派遣。遠隔操縦で土砂撤去作業を実施。



平成30年7月豪雨（西日本豪雨）

高梁川・小田川（岡山県倉敷市）へ排水ポンプ車、照明車を派遣し、排水作業を実施。



令和元年台風19号（東日本台風）

吉田川・鶴田川（宮城県大崎市）へ排水ポンプ車、照明車を派遣し、排水作業を実施。

